

# 放課後 PLAYPART

投げる大作戦！



一般社団法人  
スポーツ環境デザイン研究所

## 事前調査 志望動機

運動をする機会が少ないことと、本人もやりたいという希望があったため。

いろいろなスポーツを経験できるというので、魅力を感じました。

息子が投げる事が苦手な為、少しでも上手くなって欲しい為。

本人が野球に興味を持ち始め、上手に投げたいと思うようになってきたため。

運動全般が苦手な、不器用な子です。中でも、ボールを投げたり取ったりすることは特に苦手で、家でもやってこなかったことです。

スポーツテストでもさんざんな結果の投げることに、少しでも自信をつけて、他の運動を頑張れるきっかけになってくれればと思います。

ボール投げをうまくなりたいため

運動の苦手意識を克服したい

投げるのが好きですが自己流なので、無理して体を壊したりしないように、投げ方を教えていただけたらと思います。

ボールを投げたり、体を動かす事に苦手意識があるようなのですが、いろいろな体験を通して、コツをつかんで運動の楽しさや自信が持てるようになればいいなと思いました。

テレビで大谷翔平のゲームを見たりして、ボールを投げることに興味を持った。親とのキャッチボールくらいしかしていないので、もっとうまく遠くに投げられるようになりたい。

息子はミニバスチームに所属していますが、運動全般が苦手な投げるのも受けるのも下手くそです。

少しのコツを掴めばできるようになるだろうという思いがあったので、「できる」という経験をさせてあげたくて志望しました。

キャッチボールをしている時、もっと上手に遠くまで投げられるようになりたいと思ったから。

娘が興味を示したため

運動不足のため。

ドッジボールなど投げることに本人も少し興味があるため。

# 事前調査

## 活動に期待すること

投げるのが楽しくやれるようになる事
自分の身体を少しでも自由に動かせるようになってほしい。
怪我をしないようになってほしい。出来ないと思っていたことができる自分に出会ってほしい。
投げることの体験を通じて自分自身の様々な気づきを感じられるようになることを期待しています
色々なスポーツや体を動かすことに興味を持ってほしいです。
自分で考えて行動できるようになったり、なんでも意欲的に取り組めるようになったらいいなと思っています。
スポーツの成功体験を通して、自信を付けて欲しい。
体を動かすのを好きになって欲しい。
体の動かし方のコツをつかめたらいいなと思います
様々な遊びや種目を体験しながら、考える機会を増やし、経験を積んで欲しいです。
こどもが楽しんでやること
遊びの要素を取り入れた活動を通して、身体を動かす楽しさを味わって欲しい。
スポーツの楽しみを知る
自分で問題に向き合う、考えて克服する力を養う
活動を通じた自分自身の体の動かし方などの気づきに期待しています。

## 日常生活で子どもの気になるところ

食べるのが遅すぎる
姿勢が悪い、計画的にすすめられない、身体の動かし方が不器用
様々な分野で不器用
まったく運動や外に遊びに行くこともしないこと。
興味の対象がゲームやテレビのみであること。
など、体を動かさないことが気になります。
宿題やお手伝いもダラダラと進めるのでなかなか終わらないなど、覇気がないように思えます。
姿勢が悪い
計画を立てて進められない
集中力がない
自分の感情をコントロールできないことがある
休みの日はゲームばかりしていて、外遊びしません。体力テストはいつもD判定です。少しでも体を動かしてほしいです。
忘れ物が多少ある
ゲームや動画が好きで、それ以外の興味が無いことはつまらないから出掛けないと意地になってしまう事があったり、日常では宿題やお風呂など時間的に追い込まれないと進まない。
嫌なことを後回しにする
姿勢が悪い
時間があるとゲーム等が中心で、親が積極的に誘わないと外遊びに行かない。
姿勢を長く保つことができない。
計画的に進められず、楽な方を選んでしまう。
自分の思い通りにいかないとキレル
不器用

# 冒険の書での定量データ分析 事例①

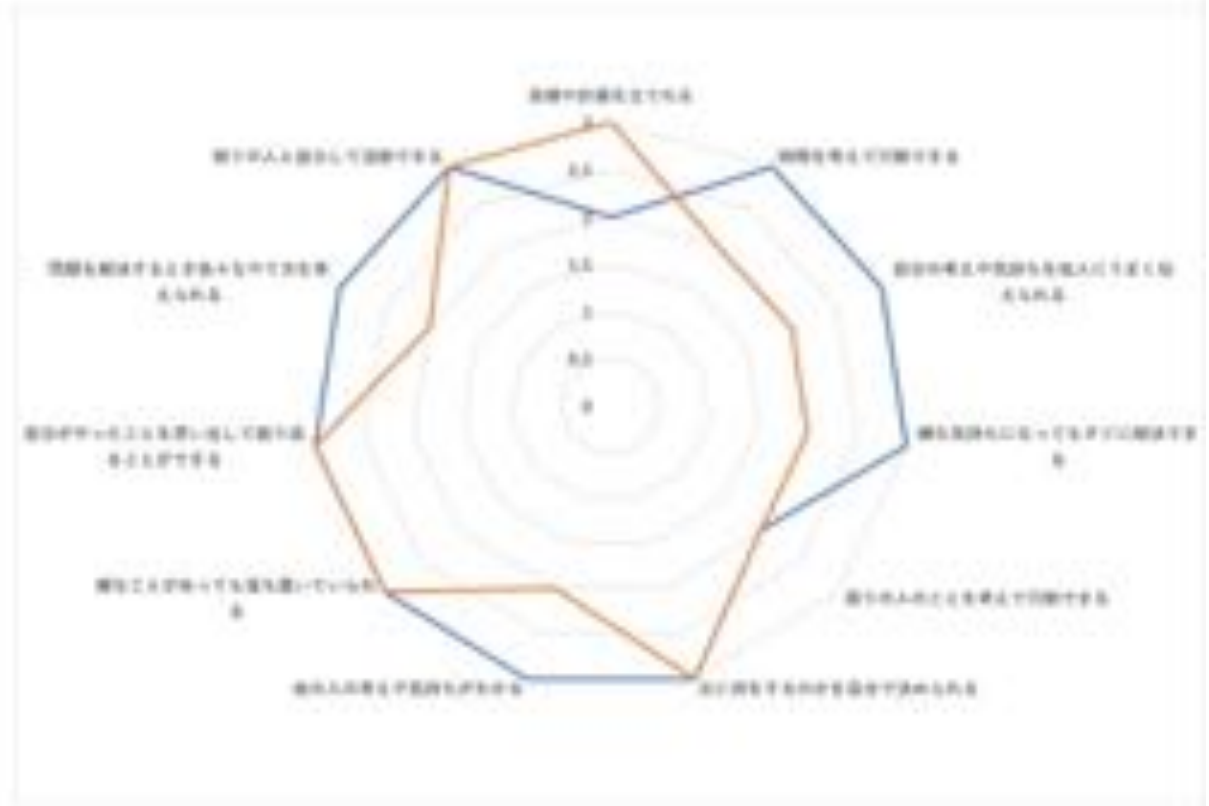
## ビフォーにおける 子ども自身の回答と親から見た子どもの姿

子どもアフター / 保護者アフター



## アフターにおける 子ども自身の回答と親から見た子どもの姿

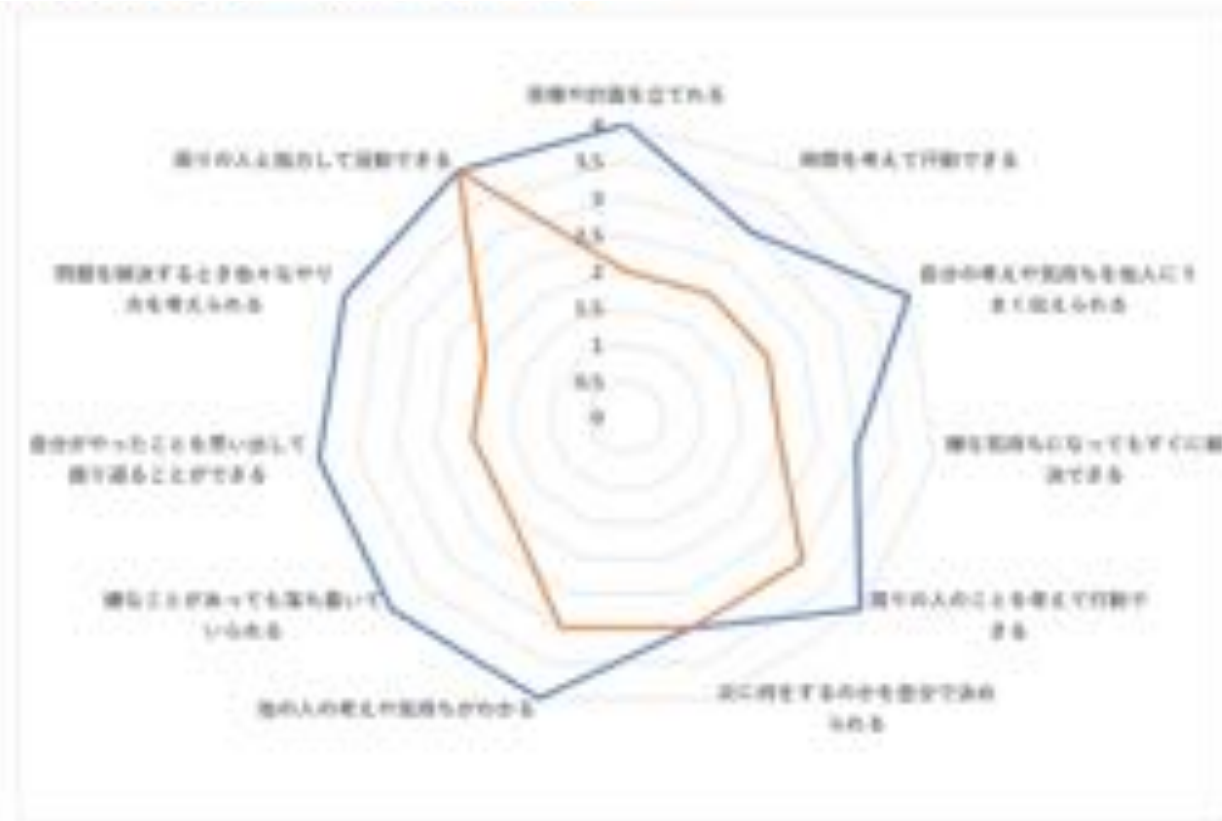
子どもアフター / 保護者アフター



# 冒険の書での定量データ分析 事例②

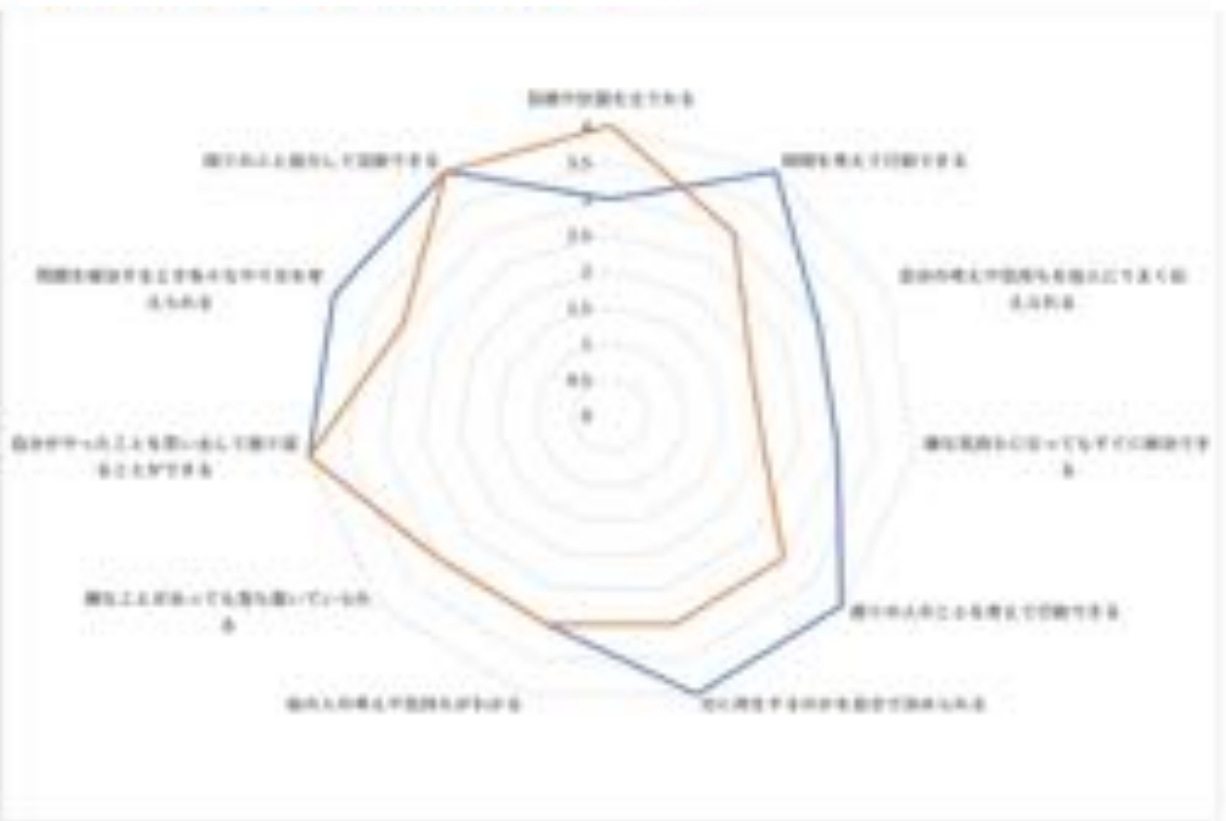
## ビフォーにおける 子ども自身の回答と親から見た子どもの姿

子どもアフター / 保護者アフター



## アフターにおける 子ども自身の回答と親から見た子どもの姿

子どもアフター / 保護者アフター



## 親の振り返り事例

投げる大作戦~~を~~を行ったことにより、投げることが上手になったことはもちろん、今までは自分の考えや伝えたいことをうまく説明すること~~に~~苦手意識があったが、ずいぶん改善し、心の成長を感じた。何か一つのこと~~が~~上手になることが自分自身の活動への自信につながっていると思う。

## 親の振り返り事例

「始球式でリレー人!!」で手を挙げて時はどうなるかと聞いてくれた。  
意外と因たくて、緊張を楽しめるのが事に気がついた。

運動は少し苦手だが本人も感じていると思ひ込んでいる。

身体が動くこと、練習して上手になること自体は好きな人だと今のところ。

改めて思ひ込めた。「運動で遊ぶ = 得意」では無いが、

本人、「また投げる大会等に参加したい」と言っている。今後は同様の  
企画があれば積極的に参加してほしいと思ひます。

## 親の振り返り事例

通常6~9月の暑い時期は、家の中でゲームばかりしていたので、途中で嫌になるのではなにかと思っていたが、いざ始めてみると、暑い中でも嫌がらずに元気で続け、1回も休まずに参加していた姿は立派だった。

ライフスキル調査では、Beforeと母がAfterと父親が答えたり、夫婦間での子供の見方の違いも分かった。母親と父親と過ごす時間が長い母親と子供の回答に違いは少ないが、忙しい父親と子供の回答に違いがあることが分かった。

毎回、最後に絵を添えたものを見ると、Beforeには、自分の姿がなく、グローブやボール、ぼうしといった“物”だけの絵だったのが、Afterでは、自分自身が投げている姿やテニスやフリスビーをしている姿が書かれていて、しっかりと、自分~~の~~が行動している姿というのを想像して、認識できているのが分かった。